

浜松学のあり方の骨子（案）

最終目標

住み続けたい、戻ってきたいと思う

「元気なまち・浜松」の実現を目指す。

目的

卒業、進学、就職、転職、起業、退職、結婚、妊娠・出産、子育て・教育、住宅建築・取得などの人生の岐路において、浜松で暮らすことを望み選んでもらえるよう、様々な成長段階や環境に応じて、「地域への思い」を育む。

<ポイント>

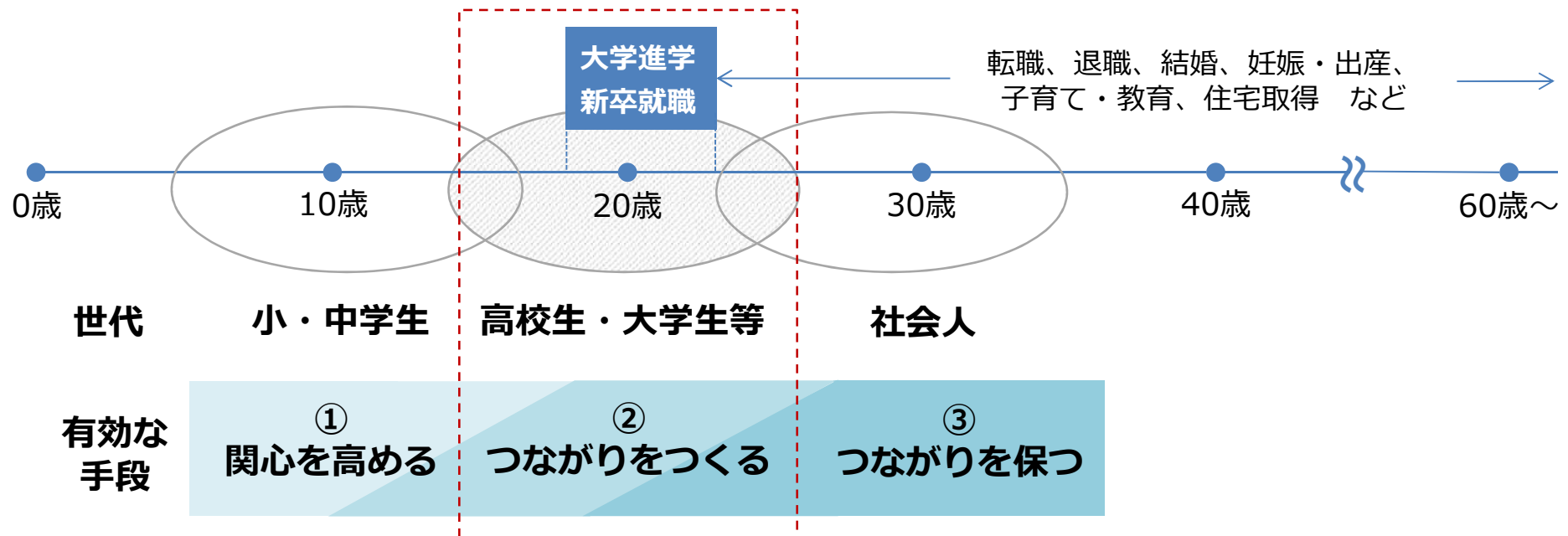
- ・地域への思いがなければ、「これからも住み続ける」、「外に出ても戻ってこよう」という選択肢は出てこない。
- ・「住んでいる人が住み続けたい、戻ってきたいと思うまち」には、市外の人にも住みたい、関わりたいと思ってもらえる。

手段

- ①地域の魅力を知り、体感し、気づくことで
地域への関心を高める
- ②地域とのつながりをつくる
- ③地域とのつながりを成長後も保ち続ける

地域への想いを育むためには、浜松に住んでいる時からのアプローチが大事である。

対象 現在、浜松に住んでいる人



**中でも、地域との関わりが薄くなり、市外への転出が増える
高校生・大学生年代の若者が特に重要なターゲットである。**

- （例）
- ・ 浜松に住み続けたいと思っている高校生
 - ・ 首都圏の大学に進学を考えている高校生
 - ・ 市内大学に進学し、市内に住んでいる大学生
 - ・ 進学や就職をきっかけに市内に移り住んだ大学生や社会人
 - ・ 市外大学に進学しても、浜松の実家に頻繁に帰ってきている大学生